

《ぐるっと点検ぐんま》防災士育成 災害時に率先誘導

市町村別	登録者数
群馬県	848
高崎市	181
前橋市	120
太田市	93
館林市	89
宇都宮市	77
足利市	68
渋川市	50
桐生市	49
志保町	33
藤岡市	23
富岡市	8
安中市	16
みどり市	20
磯原町	11
上野原町	0
神保町	1
千代田町	2
利根町	0
甘藷町	4
中之条町	8
長野原町	4
藤岡町	1
那須野上町	3
高井戸町	0
碓氷郡	6
片岡町	2
川場町	4
明和町	3
みなかみ町	12
壬午町	13
安中市	8
明和町	12
千代田町	3
大田原町	11
碓氷郡	22
合計	848

災害時に地域のリーダーとしての役割が期待される「防災士」を育成する動きが全国的に広がっている。群馬県の防災士登録者数は年々増え、昨年度末時点では前年同期比 216 人増の 848 人となっている。大規模災害時に被害を最小限に食い止めるには地域社会の主体的な取り組みが重要とされ、活動の中核を担う防災士の育成は今後も各地で進みそうだ。

昨年度末時点の市町村別の登録者数を見ると、高崎市（181 人）、前橋市（120 人）、太田市（93 人）と 3 位までは人口の多い順に並び、続く 4 位には、

人口順で 7 位ながら、須藤和臣市長も資格を持つ館林市（89 人）が続いている。